

授 業 目 名	疾患別理学療法Ⅱ（小児②）	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	小田 勇一、山田 真輔	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>小児疾患のうち、二分脊椎、神経筋疾患、染色体異常について病態、評価、理学療法士の関わりについて学ぶ。 未熟児の各器官系の機能と対応方法について学ぶ。 運動発達検査について学習し実施する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>上記小児疾患の理解を深め、理学療法士の介入が説明できる。 運動発達検査が実施できる。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	未熟児の呼吸・循環機能と対応方法		〔山田〕
第 2 回	未熟児の代謝・免疫能・体温などの機能と対応方法		〔山田〕
第 3 回	二分脊椎の評価と理学療法		〔山田〕
第 4 回	発達障害総論・発達障害の分類と特徴		〔山田〕
第 5 回	アテトーゼ型脳性麻痺の分類と特徴		〔小田〕
第 6 回	アテトーゼ型脳性麻痺の評価と理学療法		〔小田〕
第 7 回	運動発達を促す理学療法		〔小田〕
第 8 回	正常な運動発達を理解を深めはたつを促す介入について学ぶ 脳性麻痺のまとめと理学療法		〔小田〕
第 9 回	各脳性麻痺のタイプ、重症度、年齢を考慮したリハビリテーションについて学ぶ		〔小田〕
第 10 回	重症児の評価		〔小田〕
第 11 回	デュシャンヌ型筋ジストロフィーの評価と介入		〔小田〕
第 12 回	ダウン症の評価と介入		〔小田〕
第 13 回	重症心身障害		〔小田〕
第 14 回	発達障害のリハビリテーション		〔小田〕
第 15 回	小児疾患の法制度と課題		〔小田〕
	総括		〔小田〕
評 価 方 法	期末試験にて評価を行う。		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 イラストでわかる小児理学療法 医歯薬出版		
履 修 上 の 留 意 点	障害像のイメージが理解しにくい疾患である。講義に集中してください。		
メ ッ セ ー ジ	特になし		